**体育理論「アンチ・ドーピングを通して考える」①－ドーピングについて知る**

対象：高校1～2年生　　　　　　　　　本時の位置：　2時間中の1時間目

授業の目標：ドーピングとは何か、その定義を理解するとともに歴史と事例について知識を深める。ドーピングの方法や薬物の種類について知識を得ることで、なぜドーピングが禁止されているのかを考え、スポーツの「フェア」について考えられるようになる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 段階 | 学習内容 | 指導上の留意点 |
| 5分 | 導入 | 発問ドーピングについて聞いたことがありますか。どのような行為ですか。どんな事例を知っていますか。  説明**ドーピングの定義**  ドーピングとは、競技力を高めることを目的に、薬物などを不正に用いることである。  ・ドーピングの定義（世界ドーピング防止規定　第1条）  ・WADA Code | 個人で考えさせ、発表させる。  発言の内容を板書する。  簡潔に定義を説明し、ワークシートに記入させる。  資料参照 |
| 15分 | 展開① | 発問ドーピングはいつごろから問題になったか知っていますか。どんな事例を知っていますか。  説明**ドーピングの歴史**  ・1856年アムステルダム運河水泳大会  ・1960年ローマ・オリンピックで自転車競技の選手が競技中に死亡  ・1970～80年代の薬物違反の蔓延  ・1988年ソウル・オリンピックの男子100mベン・ジョンソン（カナダ）の金メダル剥奪など | 各自で考えさせ、隣の人と情報を交換する。  →何人かに当てて発表させる。→出てきた事例を板書する  ドーピングの始まりと古い事例について簡潔に紹介する。  資料参照  事例を挙げてわかりやすく説明する。 |
| 10分 | 展開② | 発問ドーピングはなぜ禁止されているのでしょうか。  学習したことを踏まえて考えてみましょう。  ディスカッション  小グループに分かれ、ブレインストーミング  出てきた意見をカテゴライズする。  ①健康、②社会的悪影響、③文化的価値の観点で分類  説明**ドーピングが禁止されている理由**  ①ドーピングの方法と薬物の種類、健康への影響  ・主作用と副作用、使用が禁止されている薬物と方法  ・薬による副作用が選手の健康を損ねる  ②社会的悪影響：薬物の習慣や青少年への悪影響など社会的な害を及ぼす。  ③文化的価値：スポーツの価値を損ないスポーツマン精神に反する。Excellence, Friendship, Respect | 各自で考えさせ、思いついたことを付箋に書き込む。  付箋を3つのカテゴリーに分類する。  内容を整理しながら、グループでディスカッションする。  グループの答えを発表させながら、ドーピングが禁止されている理由について順を追って説明する。  カテゴリーに当てはならない回答があれば紹介する。  資料参照 |
| 5分 | まとめ | 本時はドーピングについて学習しました。次回はなぜドーピングはなくならないのか、なくすためにはどうしたらよいのか考えてみましょう。 | 授業で学習したことを振り返り、次回の予告をする。 |

**体育理論「アンチ・ドーピングを通して考える」②－スポーツのフェアとは何か**

対象：高校1～2年生　　　　　　　　　本時の位置：2時間中の2時間目

授業の目標：ドーピングはなぜ禁止されているのか、スポーツの価値とは何かについて考えられるようになる。アンチ・ドーピングの活動について理解し、とるべき行動について自分なりの意見を持ち、正しい選択ができるようになる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 段階 | 学習内容 | 指導上の留意点 |
| 10分 | 導入 | 発問ドーピングとはどのような行為で、どんな方法がありましたか。思い出してみましょう。  復習ドーピングの定義と方法の復習  発問ドーピングが禁止されているのはなぜですか、思い出してみましょう。  復習ドーピングが禁止されている理由について復習 | 簡潔に定義、方法を思い出させる。生徒の答えが出てくるよう発言を促す。  禁止理由について生徒の答えが出てくるよう促す。 |
| 15分 | 展開① | 発問**ドーピングが禁止されている理由を学習しました。禁止されているのに、なぜドーピングをする人が後を絶たないのでしょう。理由を考えてみましょう。**  ディスカッション  なぜドーピングをしてまで勝ちたいのか、勝つと何が良いのかを考える。  ・お金の問題：勝利至上主義、貧困からの脱出手段  ・スポーツで身を立てる  なぜ、ドーピングがなくならないのかグループの意見を発表する。 | 各自が身近なこととして、各自の考えを持つことができるよう促す。  各自の考えをワークシートに記入させる。それをもとに小グループでディスカッションさせる。  資料の提示  小グループで発表させる。 |
| 10分 | 展開② | 発問これまで学習した事を踏まえて、**ドーピングをなくすためにはどうしたらいいか考えてみましょう**。  ディスカッション  先のディスカッションで出た意見をもとに、問題を解決するための対策を考える。  グループの意見を発表する。 | 意見が出ないようなら声をかけて議論を補助する。  なぜドーピングがなくならないかについての考えをもとに対策を考えさせる。 |
| 10分 |  | 発問ドーピングへの取り組みについて何か知っていますか。どんな組織がこれに取り組んでいるでしょうか。  説明アンチ・ドーピング活動の組織と活動  1999年WADA世界アンチ・ドーピング機構設立  ・アンチ・ドーピングの活動  ①ドーピング検査の実施  ②禁止物質流通の制限  ③関係者への教育・啓発及び情報提供  ・ドーピング検査の実際 | 各自で考えさせ知っていることがあれば発言させる。  JADA（日本アンチドーピング機構）についても説明する。  →全体に問いかけながら授業を進める。  ドーピング検査の実際について、資料を参照しながら具体的に説明する |
| 5分 | まとめ | 2回にわたってドーピングについて学んだことを、今後に生かしてください。 | 2回の授業を振り返らせ、身近なこととして捉えさせる。 |